

## 一般社団法人東京倶楽部 2023 年度（令和 5 年度）事業報告及び会員動静

本倶楽部は、国際親善・交流ネットワーク形成の基礎として、国際親善を増進し、併せて会員相互の親睦を厚くし、知識の交換を図ることを目的としている。この趣旨に沿うよう以下の事業を実施した。

### [I]実施事業

#### 1. 人材育成事業

内外の人材育成を目的とし、信頼できる留学支援制度を通じた支援、助成活動に取り組んできた。当期は従来からのグルー・バンクロフト等の奨学金、一般の人材育成のための助成金に加え、Ⅱ.1.(2)記載の解決金の一部を有効活用し、公的目的支出の一貫として、東京大学、慶應義塾大学、早稲田大学の3校に各3億円の指定寄附を実施した。

合計件数： 15 件      合計金額： 959,227,950 円

#### 2. 助成事業

(1) 国際的相互理解促進のため国際関係諸問題の研究補助、国際会議並びに国際親善に寄与する学術研究、学術会議等内外人の国際文化活動、倶楽部の助成活動の目的に沿ったプロジェクトに対する助成を実施した。

合計件数： 19 件      合計金額： 40,500,000 円

(2) 特別寄付：トルコ南東部地震被災者支援のための義援金

合計件数： 1 件      合計金額： 5,000,000 円

(上記、1、2の対象プロジェクト、助成先及び寄付先の内容は、添付附属明細書を参照。件数と金額は、理事会承認に基づく。)

#### 3. 国際親善事業

##### (1) 家族会

海外賓客も参加して行われる家族が集う夕食会。国際交流の促進に貢献している。

3月 23日

6月 29日

9月 28日

11月 28日

##### (2) 国祭日祝賀会

内外国人との国際親善を図るため開催。

2月 20日 天皇誕生日祝賀会（竹田理事長乾杯）

7月 3日 米国独立記念日祝賀会（駐日米国主席公使御来場）

12月 1日 英国王誕生日祝賀会（駐日オーストラリア大使御来場）

##### (3) 月例晚餐会・国際親善

交流の定例会として、例年は7、8月を除く毎月第3水曜日に開催している。

（計10回実施）

- (4) 内外大使、各国在住者、有識者との意見交換会  
内外関係の情報（知識）の交換のために、内外大使をはじめ有識者との意見交換会を、計 82 件実施した。
- (5) 各種研究会、講演会、国際会議  
内外関係の情報（知識）の交換のために、経済、文化、芸術に係る研究会等を、計 3 件実施した。

#### 4. 学術交流事業

講演午餐会を毎月（除く 7 月・8 月）開催、その道の専門家を招聘し、有益なる学説や意見の聴取、或いは国際情勢についての知識を深める場として活用した。

（各月の講演者及び演題は添付附属明細書を参照。）

### [III]その他事業

#### 1. 不動産賃貸事業

##### (1) 貸室賃貸借

2023 年度の貸室の契約更改は 3 社であった。新たな貸室供給増の影響により家賃減額の要請を受けたが、現状維持で契約更改することで合意を得られた。また、既存テナントの増室により空室率は、12%から 8%となった。テレワーク増によるオフィス需要の減少が続く一方で都心のオフィスの空室率は依然高いにも拘わらず今後も更なる供給過多が継続する見通しのため、新たなテナント誘致の環境は厳しい状況である。

##### (2) 調停

霞が関の倶楽部土地を巡る三井不動産株式会社との賃貸借契約について東京簡易裁判所において調停手続を進めてきたが、2023 年 9 月 29 日に正式に調停が成立した。

#### 2. 国際文化交流事業

##### (1) 芸術鑑賞会

文化を通じた国際親善・交流を図るため、オペラ、歌舞伎、文楽、バレエの鑑賞を行った。

##### (2) 各種交流会

日本と海外の文化交流と相互理解の促進を図るために、新年会、忘年会、ワインパーティー、アウトティングを開催している。

##### (3) 各種競技会

囲碁、将棋、ゴルフ、ビリヤード、ブリッジの同好会を中心にレッスンやトーナメントを通して会員相互の親睦、国際交流の輪を広げた。又、競技会を通じた他のクラブとの交流にも努めた。

##### (4) 図書蒐集

蔵書の充実により、会員の利便性の向上を図った。

(上記(1)の実施状況及び(2)については、添付附属明細書を参照。)

### 3. 会員事業

(1) 海外の提携クラブとの交流の深化

相互利用協定を締結している 36 の外国クラブとの間の国際親善を深化させた。

(2) 会員間の親睦を図る場として、引続き食堂やゲーム室、その他の施設の充実を図った。

(3) 倶楽部会報

2、4、6、8、10 及び 12 月号、計 6 号を発行した。

(4) 会員専用ホームページ

会員への情報提供サービスとして、倶楽部運営についての通知や訃報を会員専用のホームページに掲載した。

(5) 著者懇談会

著者を招き、会員との間で著作に係るエピソードや質問等意見交換の場として懇談会を開催した。

10 月 6 日開催 (添付附属明細書を参照)

(6) 歴史的資料収集

倶楽部の歴史に関する資料を収集する活動の一環として活動している。図書室内の所定の場所に資料を閲覧できるよう専用のファイルボックスを設置した。

(7) スマートフォン講習を(公社)シルバー人材センターと提携して、6 月 7 日～7 月 27 日の期間で行った

(8) 会員動静 (12 月 31 日現在)

名誉会員	4 名	退会会員	23 名
終身会員	124 名	新入会員	17 名
居住会員	513 名		
(除く終身会員)			
計	641 名		
不在会員	112 名		

### [III]その他の活動

1. 総会、理事会

- ・ 定時会員総会 2 月 24 日
- ・ 理事会 毎月 (除く 7, 8 月) 第 3 水曜及び 2 月 24 日総会後に開催
- ・ 臨時理事会 6 月 7 日、及び 12 月 6 日に開催。

2. 各種委員会活動等

- ・ 延べ 38 回開催 (電磁的開催を含む)

3. 倶楽部ハウスの改修

- ・ 倶楽部ハウスは、改修工事のため 8 月 11 日(金)から 20 日(日)の間休館し、コロナ禍の影響により過去 2 年間出来なかった夏季改修工事を実施した。今回の改修工事

では、製作・施工不良のあった13か所の外部複層ガラスの交換、傷や汚れの経年劣化対応として廊下・階段等の壁クロスの交換並びに館内全般にわたって木部、家具、鉄扉等の塗装を行った。1階ロビー壁面には、堀木エリ子氏作品(和紙)取付けに伴うアートフレーム(高さ6メートル×幅1.8メートル)及び内部照明器具を設置した。また、設備面では、ダクト火災防止のための厨房内排気ダクト内の油分除去清掃や給気ダクト内の粉塵撤去(空気環境の保持)、及び電気・機械設備のオーバーホールを各所で行った。

#### 4. 美術工芸品の購入

- ・2023年3月の理事会の承認を経て下記の3作品を購入した。

1. 作品名：Bay of Sagami, Atami 写真 杉本博司氏作

制作年：1997年 サイズ：縦20インチ 横24インチ

杉本氏の作品は、メトロポリタン美術館など世界有数の美術館に収蔵されている。2009年高松宮殿下記念世界文化賞(絵画部門)を受賞し、2010年秋の紫綬褒章を受勲。2017年文化功労者として顕彰されている。2階バー側のラウンジの壁面に展示。

2. 作品名：縁(EN) 和紙 堀木エリ子氏作

制作年：2023年 サイズ：高さ6メートル 幅1.53メートル

堀木氏は、紙職人として修業の後、「建設空間に生きる和紙造形の創造」をテーマに和紙インテリアアートの企画・制作から施工までを手掛けている。作品は、首相官邸、在京フランス大使公邸、東京ミッドタウン日比谷などに使われている。入口右側の壁面に設置。

3. 作品名：Lumi-KONGO、Lumi-TAIZO、Lumi-GRADATION 紙、蠟、絵具 向山喜章氏作

制作年：2012年 サイズ：三作品共縦50センチ 横50センチ

向山氏は、幼少期から高野山の仏教美術に触れた原体験から、光をモチーフとして扱い、代表作ともいえるワックスを用いた作品では、光に姿を与え固定化するような試みを行っている。森美術館、横浜美術館などが作品を所蔵している。食堂に入って正面の壁面に展示。

以上